

福島東稜高校の 5つの学び

福島東稜高校はこれからの新しい時代をたくましく生きる力、21世紀型学力の育成を目指しています。そして地域社会に貢献するための知識と豊かな心を持った人間力の向上を図るため5つの学びを実践していきます。

1 自ら考え、自ら学ぶ 生徒を育てる

社会が直面している課題を解決するには、それらを「自分事」としてとらえ、自分からかわろうとする姿勢が大切です。そのためにはやらされる学習ではなく自ら学ぶとする意欲が必要なのです。今自分がどのような課題を抱え、どのように解決していくのかを自ら考え、解決しようとする主体性のある生徒を育てます。

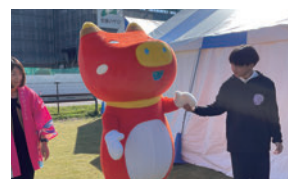


進路ガイダンスで大学の学問についてのグループディスカッション



2 地域、大学、社会との つながりを持った教育

地元企業と提携して商品開発や販売実習を行ったり、食品コンテストへの応募、小学校や保育所での出前授業などを通して、企画力や表現力、プレゼンテーション能力の向上を目指します。また大学や専門学校との連携授業により、専門的で実践的な学びができます。さらに部活動においても地域貢献を目標とした取り組みを行っており、地域と密着した開かれた学校づくりを目指しています。



道の駅ふくしまにてベコ太郎のお手伝い



JAFドレミくるーぶ交通安全教室

3 勉強だけでなく、部活にも全力 文武両道

部活では全国大会出場、勉強では有名大学に進学



福島東稜高校は「文武両道」を目指し部活動への参加を推奨しています。「高校時代の思い出は？」と聞くと「部活動で頑張ったこと」と答える先輩がとて多いのが特徴です。部活動で頑張れるからこそ勉強でも頑張れるのです。人生一度きりの青春時代を同じ目標を持った仲間たちと共有しませんか？運動部・文化部問わず入部大歓迎です。



新潟大学工学部4年
佐藤 祥太 さん
普通科スポーツ健康コース
2021年度卒業
卓球部OB
(長井南中学校出身)



順天堂大学スポーツ健康科学部3年
浅沼 早英 さん
普通科スポーツ健康コース
2022年度卒業
女子バスケットボール部OG
(湊中学校出身)

4 多様性を尊重する 教育

グローバル社会においては国籍を問わずいろいろな価値観を持った人と出会い共生していくことが求められます。多様性を認めお互いを尊重しあい、協働して取り組むことのできる教育を目指します。



ナイジェリアからの留学生や外国籍の生徒たち

5 好きなことを 仕事や進路につなげる

福島東稜高校には3つの学科があり、1年次から専門的な学びを行っています。将来の夢が決まっている人はもちろん、決まっていない人も高校生活で自分の「好き」とことん追求し、もっと広げて未来を切り開いていきましょう。わたしたちはあなたの「好き」を応援します。



食物文化科卒業後進学、その後、栄養士として活躍する卒業生